

2019 春の研修会 アンケート結果

1. 国の施策について、関連性をもって話をきけて良かったです。各教室との交流が出来て、実情が知れてよかった。
2. 文化庁がということは、国がと解釈して、今回の研修でやっと国が各地で行っているボランティアによる各日本語教室の現状を理解し、取り組みだしたとおもいました。研修内容は、実に詳しくて、この様なバックアップがあると今後の日本語学習指導に、さらに役立つと思います。
(問) 今後のボランティアは、PaidかUnpaidかを考えてもいいのではないのでしょうか。
3. 今回、大量の資料が配布されたので、消化不良である。日常の我々の活動と今回の研修内容の接点が少ないと感じた。文化庁を中心とする種々の省庁が多く施策を掲げていて、その内容の PR 活動として今回の研修会を認識した。
4. 生活する外国人が増々増えていく中で、国の対応の一部がわかりました。ただ行政が、国→県→市町村→末端の日本語教室と流れる中で、一番身近な市町村の具体的な動き、熱意が見えてきません。
5. 文化庁には、様々な日本語教育の支援プログラムがあることがわかりました。それが地域の日本語教室に伝わっていなかったのが、残念に思います。これからはガイドブックなど活用していきたいと思います。
6. 日本語ボランティアとして活動しています。活動のノウハウの講義と思い参加しました。その意味ではちょっと。ただ国がどう動いているかが少しわかりました。
7. 日本語教育施策に多くの省庁が関わっていることはわかったが、横串に調整する役割の人間（または組織）が欲しい。文化庁の関与している事業の紹介に加えて、数多くの資料の説明に終始していた。何が課題で、その課題をどのように解決していくかを話してほしかった。
8. 文化庁の考え方を、県、市などのどのルートで具体的に連絡されているのかを示してもらえたら、身近な話として聞けたと思います。役所との付き合い方に難しさを感じている現実と、本日はなしの仕組みの説明とのギャップを感じました。本日はなしで問い合わせチャンネルができたので、今後活用したい。
9. 国の施策が変わってきていることは新聞等で理解していますが、地域日本語教室が今後どのように変わっていくべきか知りたかったです。
10. 文化庁を中心として、色々な施策をされていることはある程度理解できた。具体的に日頃の活動に反映させるかは、今後 5 つの冊子等を取寄せ検討したい